

『毎日の情報Ⅰ』～毎日配信企画～

No.040

現代社会では、インターネットが生活のあらゆる側面に浸透しており、特に A ネットショッピングは人々の消費パターンを大きく変えています。インターネットを介して商品を購入し、その商品を自宅まで届けてもらうという便利さは、従来のリアル店舗でのショッピングとは比較にならないほどです。しかしながら、ネットショッピングの利便性と同時に、その安全性への懸念も生じています。一例として、[①] と呼ばれる詐欺があります。これは、偽のウェブサイトやメールを使ってユーザーの [②] や個人情報を盗む手口です。これらの脅威からユーザーを守るため、[③] というサービスが存在します。これは、買い手と売り手の間に立って取引を仲介し、両者の信頼を保証する役割を果たします。そして、ネットショッピングの安全性に対する別の懸念として、[④] があります。これはユーザーのデータを暗号化し、その解除を要求する代わりに身代金を要求するマルウェアの一種です。

一方で、インターネットは情報の伝播速度を加速させる媒体でもあります。このような急速な情報化の進展は、[⑤] と呼ばれる、人間の知能が人工知能に追い越される時点を予見させます。

問1 空欄 [①] から [⑤] に当てはまる言葉をそれぞれ答えなさい。

問2 下線部 A のネットショッピングについて、それが提供する利便性と安全性への課題について述べた文を選びなさい。

- ① ネットショッピングは 24 時間いつでも利用でき、品揃えも豊富だが、その反面、偽のウェブサイトや不正な取引などの脅威が存在する。
- ② ネットショッピングは地元にはない商品も手に入れることが可能だが、商品の実物を見ることは全く必要ないと考えられている。
- ③ ネットショッピングでは、選んだ商品が自宅まで届けられる利便性があるが、商品の配送は遅くても許容範囲内だと一般的に考えられている。
- ④ ネットショッピングは商品の比較が容易で、一度に多くの商品を見ることができる。しかし、商品の評価やレビューは 100%信頼できるとされている。